

2018年3月26日

長崎県大村市と「観光推進に関する協定書」を締結

ー長崎県で初めての市町村とセブン・イレブン・ジャパンおよびセブン銀行による三者協定ー

株式会社セブン銀行（以下セブン銀行、東京都千代田区、代表取締役社長 二子石 謙輔）は、長崎県大村市および株式会社セブン・イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 古屋 一樹）との間で、長崎県大村市の観光推進を通じた魅力あるまちづくりに資することを目的とした「大村市の観光推進における連携と協力に関する協定書」を2018年3月26日に締結しました。

長崎県大村市は、長崎空港があることから、長崎県の玄関口として多くの観光客の方々にご利用されます。セブン銀行ATMでは、日本で発行された約600社の提携金融機関カードのほか、海外で発行されたキャッシュカード、クレジットカードで「日本円」を引出すことができます。本協定により、国内外のお客さま向けに同市の観光情報の発信等を推進してまいります。

記

1. 協定の名称

「大村市の観光推進における連携と協力に関する協定」

2. 協定締結日

2018年3月26日（月）

3. 連携事業内容

- (1) セブン銀行ATM等の活用による観光情報の発信に関すること
- (2) 観光情報の発信に関すること
- (3) その他大村市の観光推進の取組に関すること

以 上